

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部
SD推進委員会
2023年度年間活動報告書

2024年3月31日

《SD推進委員》

委員長	加島 勝一
委員	東 英和
委員	岩下 千恵子
委員	平田 博幸
委員	大泉 早智子
委員	内山 淳
委員	岡野 美幸
委員	清水 麻理子
委員	川又 彩夏
委員	羽佐田 梨乃

内容

1. はじめに	- 2 -
2. 2023 年度 事業報告	- 5 -
2.1. 集合型研修	- 5 -
2.2. e-ラーニング研修	- 7 -
2.3. 学外合同研修会	- 8 -
2.4. 学内合同研修会	- 8 -
2.5. 部署内勉強会等	- 9 -
2.6. その他	- 10 -
3. 研修会アンケート集計	- 11 -
3.1. 集合型研修アンケート報告	- 11 -
3.2. オンデマンド研修（e-ラーニング）に関するアンケート報告	- 15 -
3.3. 学外合同研修会に関するアンケート報告	- 16 -
3.4. 学内合同研修に関するアンケート報告	- 17 -
3.5. 次年度 SD に向けたアンケート報告	- 18 -
3.6. 集計結果全体に対するコメント	- 18 -
4. まとめと次年度計画	- 19 -
4.1. まとめ	- 19 -
4.2. 次年度計画	- 19 -

1. はじめに

高崎商科大学 SD 推進委員会（以下「本委員会」と言う）は、2015年4月1日に施行された「高崎商科大学 スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき組織されており、2023年度の構成員は各部署よりまんべんなく専任職員6名が選出されている。また2017年度よりSDに関する法令が制定されたことに伴い、昨年度に引き続き4名の専任教員（商学部 教授2名、特任准教授1名、短大部 准教授1名）を構成員に加え、合計10名で活動を行っている。

同規程では、スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」と言う）を「専任教育職員・事務職員を対象とした管理運営や教育・研究およびその支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組み」と定義しており、今年度も、以下の3項目について計画的、継続的に企画・運営している。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項

各回の委員会の開催時期と検討内容は以下の通りである。

第1回

2023年4月19日開催

内容

- (1) 2023年度の委員について
2023年度SD推進委員会の委員の顔合わせを行った。
- (2) 2023年度の主な活動について
今年度の活動について、主に以下の点が共有された。
 - ① SD研修会（e-ラーニング・外部研修等）の実施に向けた準備について
SD推進委員会の方針が示された。また、文部科学省が定めるSDの位置づけや役割を確認し、研修会検討のベースを確認した。
 - ② 他大学との連携事業について
高崎健康福祉大学との合同SD研修会に向けた準備状況が共有された。
 - ③ 年間活動報告書の作成と公開について
各研修会実施後に大学公式ホームページに研修会の様子を公表する。
年度末にはSD活動報告書を作成し、大学公式ホームページにて公表する。
- (3) 役割分担（案）
2023年度SD推進委員会における役割を決定した。

第2回

2023年5月24日開催

内容

- (1) 企業におけるSDの取り組み事例について
東委員より、企業におけるSDの取り組み事例が共有された。
- (2) SD研修会実施内容（案）について
各委員よりSD研修テーマ案が提示された。これをもとに委員長が今年度の研修を組み立てることとなった。
- (3) 高崎健康福祉大学との合同研修会について
高崎健康福祉大学との合同SD研修会に向けた準備状況が共有された。

第3回

2023年6月28日開催

内容

- (1) SD 研修会実施計画について
今年度の研修として、以下の内容実施が決定した。
 - ① 最新の大学受験事情と高崎商科大学・短期大学部の方向性（集合型研修）
 - ② 大学におけるキャリア支援を学ぶ（e-ラーニングを検討）
 - ③ KH Coder について（活用方法）（集合型研修を検討）
 - ④ PC スキルアップ講座（e-ラーニングを検討）
 - ⑤ 教職員のメンタルヘルス（集合型研修を検討）
 - ⑥ 働くうえでの服装・マナーに関する研修（集合型研修を検討）
- (2) 高崎健康福祉大学との合同 SD 研修会について
高崎健康福祉大学との合同 SD 研修会に向けて、進行表をもとに準備状況が共有された。

第4回

2023年7月26日開催

内容

- (1) SD 研修会の日程等確定について
今年度予定されている研修会の進捗が共有された。
- (2) 合同 SD 研修会（高崎健康福祉大学）最終確認について
高崎健康福祉大学との合同 SD 研修会に向けて、進行表をもとに最終的な準備段階に入っている点が共有された。
- (3) その他
第1回 SD 研修会「最新大学受験事情と、高崎商科大学・短大の方向性について」の参加者アンケートが共有された。

第5回

2023年10月11日開催

内容

- (1) 実施済み SD 研修会の報告について
実施された SD 研修会の事後アンケート結果等が共有された。
- (2) 現在進行中の SD 研修会の状況報告について
今後予定されている SD 研修会の進捗状況が共有された。
- (3) 学校法人理事・評議員・監事への e-ラーニングの提供について
理事・評議員・監事により適切な判断やアドバイスをいただけるよう、教職員同様に e-ラーニングのアカウントを付与したことが共有された。
- (4) SD 研修会開催マニュアル（案）について
研修会開催に際し、新たにマニュアルを整備する提案がなされた。マニュアルがあることで、円滑な研修会準備や業務負担の軽減を目指す。
- (5) その他
研修会参加者の当日の出席確認について見直しを行った。

第 6 回

2023 年 11 月 29 日開催

内容

- (1) スタッフ・ディベロップメント規定の一部改訂に関する審議
スタッフ・ディベロップメント規定の内、自己啓発支援に関する項目が法人の稟議規定第 3 条に盛り込まれていることから、当該規定からは削除することとなった。
- (2) SD 研修会後のアンケート結果公開に関する審議
これまで SD 研修会後の事後アンケートは SD 推進委員会のみで共有されていたが、次回以降、アンケート内容の一部を回答者に開示することとなった。
- (3) 現在進行中の SD 研修会の状況報告について
今年度実施予定の研修会の進捗が共有された。
- (4) SD 合同研修会（高崎健康福祉大学）最終振り返りについて
8 月に実施した高崎健康福祉大学との合同 SD について、各大学の事後アンケートを持ち寄り、次回以降の検討を行う予定である。
- (5) S D 研修会「働くうえでの服装・マナー」のアンケート共有について
10 月に実施した S D 研修会について事後アンケートの共有がなされた。

第 7 回

2024 年 1 月 24 日開催

内容

- (1) 2023 年度 SD 研修会全体（まとめ）アンケート質問項目の提案に関する審議
SD 研修会全体にかかるアンケート質問項目の審議が行われた。
- (2) 本の要約サービス「flier」Web 版の利用に関する審議
期間を限定してサービスを利用することとなった。利用希望者のとりまとめは、S D 推進委員会が行うこととなった。
- (3) SD 研修会の実施報告並びに今後の予定について
今年度実施予定の研修会について準備状況の共有がなされた。

第 8 回

2024 年 2 月 22 日開催

内容

- (1) 2024 年度 SD 研修会の選定について
今年度の SD 推進委員会活動報告書の作成にむけ、次年度研修会の検討を行った。
- (2) SD 研修会実施報告について
「最新の就職環境とキャリア形成に向けた低学年からの教育」の事後アンケートの共有がされた。
- (3) その他
前回の委員会以降、教職員に周知した「flier」の申し込み状況が共有された。

第 9 回

2024 年 3 月 25 日開催

内容

- (1) 2023 年度 SD 活動報告書について
2023 年度 SD 活動報告書の作成進捗状況が共有された。
- (2) 2024 年度への申し送り事項等について
令和 6 年度の学園方針や今年度の各研修会後のアンケートの内容を踏まえ、次年度研修に向けた検討が行われた。
特に、次年度は研修会において本学が目指す教職員像を踏まえた研修会設計を目指すこととなった。
- (3) その他
flier（フライヤー）の利用者にアンケートを実施し、利用状況の把握に努める。また、4 月以降もアカウントの利用ができることから、引き続きの利用を案内する。

2023年度に実施した学内SD研修等の詳細については「2. 2023年度 事業報告」にて紹介する。また研修会開催終了毎に実施したアンケート調査の集計結果については「3. 研修会アンケート集計」にて紹介する。

2. 2023年度 事業報告

2023年度は年間を通して4回の集合型研修と1種類のe-ラーニングによる研修を実施した。集合型研修では、大学職員としての視点を広げる研修や学生支援の際に必要な心構えの理解を深めるための研修会を開催した。e-ラーニングでは、ビジネスの場面でよく利用するOAスキルを効率的に修得することを目指した。

本項に記載する研修は教育職員・事務職員を対象としたSD研修会の他に、他委員会との合同研修会や今年度初めて実施した高崎健康福祉大学との合同研修会についても記している。また、2.5では本委員会による企画とは別に、部署やチームによる独自研修会についても報告する。

2.1. 集合型研修 Ⅱ

① 最新大学受験事情と、高崎商科大・短大の方向性について

実施日： 2023年6月28日（水）16：00～17：00

参加者数： 受講者数 52名（対象者数：65名 受講者率 80.0%）ⁱⁱⁱ

内訳： 高崎商科大学教員…16名、高崎商科大学短期大学部教員…6名
高崎商科大学職員…30名

講師： 大学イノベーション研究所 所長・山内太地氏

内容： 社会状況の変化に伴い、大学進学を取り巻く環境は学生の保護者の時代とは大きく様変わりしている。「大学入試は情報戦」ともいわれる昨今、最新の大学事情を知ることを目的とし、大学受験状況をもとに、大学を取り巻く環境を解説いただいた。



② 働くうえでの服装・マナーに関する研修

実施日： 2023年10月6日（金）10：00～11：00

参加者数： 受講者数 35名（対象者数：66名 受講者率 53.0%）iv

内訳： 高崎商科大学教員…9名、高崎商科大学短期大学部教員…0名
高崎商科大学職員…26名

講師： 洋服の青山藤岡店ショッパマネジャー 田嶋亮太氏

内容： 近年の就職活動では、企業が学生に対し説明会や面接の場面で私服の来室を指定することが増えてきた。ビジネスシーンにおける「私服」の考え方やアイテムの組み合わせ方を知ること、学生の就職支援の参考にするとともに、学生が教職員の姿を通じて働く大人の姿を具体的にイメージできるようになることを目指し、実際の洋服を活用しながら解説をいただいた。



③ 上質な睡眠で健康な毎日を一効率的で質の良い業務に向けて—

実施日： 2023年12月26日（火）14:00～15:00

参加者数： 受講者数：32名（対象者 67名 受講者率 47.7%）v

内訳： 高崎商科大学教員…5名、高崎商科大学短期大学部教員…1名
高崎商科大学職員…26名

講師： 群馬ヤクルト販売株式会社 未来価値創造課 茂木りな氏
群馬ヤクルト販売株式会社 管理栄養士 高橋江里加氏

内容： 近年、働く世代の不眠や睡眠の質低下について、厚生労働省にも取り上げられ、問題視されている。良い睡眠をとることで、ストレスを感じにくくなり、メンタルヘルス不調の発生リスクを減らすことができ、仕事の生産性もアップすると言える。

今回、健康経営の推進を掲げる群馬ヤクルト販売株式会社を講師に迎え、参加者一人一人が自分の体と心の健康に向き合い自らを整え、日々を健康的に過ごすことで業務の効率化を図ることを目指した。



④ 最新の就職環境とキャリア形成に向けた低学年からの教育について —就職を意識した継続的な学び—

実施日： 2024年1月26日（金）14:30～16:00

参加者数： 受講者数：37名（対象者66名 受講者率56.0%）^{vi}

内訳： 高崎商科大学教員…12名、高崎商科大学短期大学部教員…2名
高崎商科大学職員…23名

講師： 株式会社マイナビ 就職情報事業本部 北関東キャリアサポート2課
課長 三村扶美子氏

内容： 学生のキャリア形成は一朝一夕で出来上がるものではない。就職活動において学生を取り巻く変化を知り、企業が就職活動で重視するポイントを踏まえた継続的な支援の在り方について学ぶ機会とした。



2.2.e-ラーニング研修

昨年度のアンケートを踏まえ、2022年度に引き続き、オンラインを活用した研修の機会を提供した。今年度は、全員必須研修としてOAスキル研修の内、自身が選んだいずれかの講義を業務時間内に受講するよう定めた。講座受講後、受講レポートを所属長とSD推進委員会委員長に提出した（レポートの項目については下記の通り）。

SD推進委員会が定めたOAスキル研修以外は自己研鑽の機会とし、自身の興味関心に併せた受講を推進した。

e-ラーニング受講後のレポートの項目（一部）

- どのようなことを期待してこの研修を受講しましたか？
- 研修を受けてどのような気づきや発見がありましたか？
- 研修で学んだ内容の中で、自身の業務にとって最も重要だと思ったことは何ですか？

①OAスキル研修

実施日： 7月～10月の間に各自で受講日を定める

参加者数： 受講者数：34名（対象者36名 受講者割合94.4%）^{vii}

内容： 昨年度のアンケートで希望が寄せられた「パソコンに対する知識・技術の修得」を目的とした研修を実施し、ビジネスパーソンに必須であるOAスキル（word、Excel、PowerPoint等）を学ぶことで、業務の効率化及び勤務時間削減を図る。今回は個人のスキルにあわせて入門編・一般編・応用編のいずれかを個人が選択し、研修に取り組んだ。

レポート：
• Accessを業務上で初めて利用したため、基礎が学べてよかった。
• 自分が認知している実力に合わせた講義を選択でき、これまで知らなかった機能を知ることができた。
• 業務に役立つ内容だったため、受講して良かったと思いました。

2.3. 学外合同研修会

① 高崎健康福祉大学・高崎商科大学 合同 SD 研修会

実施日： 2023年8月29日（火）14：00～16：00

会場： 高崎商科大学

参加者数： ワークショップ参加者数 51 名

内訳： 高崎商科大学職員…22名（うち研修会対象者 21名）

高崎健康福祉大学職員…29名（うち研修会対象者 25名）

背景： 高崎健康福祉大学 SD 委員会が 2022 年 9 月に来学し、両大学による SD 活動について情報交換が行われた。その後、合同 SD 研修会実施の検討が進むなか、2023 年 2 月 16 日（木）に本学と高崎健康福祉大学は、高崎市内の異領域分野の大学で協働し、教育・学術研究の質向上や地域貢献機能の強化を推進することなどを目的に大学間包括連携協定を締結した。活動の一環に教職員交流が含まれていることから、両大学の SD 委員が合同 SD 研修会実施に向けて、オンラインと対面での打ち合わせを重ねた。

内容： 今回、職員の質・能力向上、大学業務の効率化・高度化に向けた情報交換やネットワーク形成の機会とした合同研修会を開催。2 つのテーマに対し、業務内容が近い職員同士で 2 つのテーマについて、課題感やそれに対する取り組みについてワークショップ形式で意見を交換した。なお、教職員交流の初回であることを踏まえ、課長以上を除く職員で構成された。

研修会のテーマは以下の 2 つに設定。時間内にそれぞれのテーマについて意見を交わしてもらった。

- ・ テーマ① 大学事務を続けてきて思ふこと～毎日せわしなく働く今日この頃～

- ・ テーマ② 各大学における課題とは？解決のカギは協定にあり？

なお、実施に際し、本学 SD 推進委員の内 4 名と高崎健康福祉大学 SD 研修チームの内 3 名が研修会内容の設定、準備を担った。2022 年 12 月より計 5 回のオンライン・対面での打ち合わせ、また随時メールや電話等で準備を進めた。



2.4. 学内合同研修会

① FD・SD 合同研修会

テーマ： 財務諸表の見方、本学の状況等について

実施日： 2023年9月6日（水）13：00～14：00^{viii}

参加者数： 受講者数 64 名（対象者数：64 名 受講者率 100%）^{ix}

内訳： 高崎商科大学教員…26名、高崎商科大学短期大学部教員…8名

高崎商科大学職員…30名

講師： 高崎商科大学 法人本部 高野卓子総務課長

高崎商科大学 教学課総務グループ 内山淳係長

内容： 本学の経営状況を把握し、教職員としての経営的視点を身に付ける機会とし、会計業務担当者より 2022 年度の経営状況について解説を行った。

② 学内 IR・SD 合同研修会

テーマ： テキストマイニング体験－「KH Coder」の活用方法について－

実施日： 2023年9月12日（火）13：30～15：00

参加者数： 参加者数 20 名（事前申込者：23 名 受講者率：87.0%）*

内訳： 高崎商科大学教員…6 名、高崎商科大学短期大学部教員…2 名
高崎商科大学職員…12 名

講師： 高崎商科大学短期大学部 降旗光太郎准教授

内容： テキストマイニングができるソフトウェア「KH Coder」の活用方法について学ぶ機会を設けた。KH Coder を用いることで、アンケートなどのテキストデータから必要な情報を抽出し、その再現頻度や相関性を分析することが可能となる。参加者には自身の PC に KH Coder を事前にセットアップしてもらい、実際に手を動かしながら活用方法を学んだ。



2.5. 部署内勉強会等

課員自らが講師を担当することで、設定したテーマへの理解がより深まると考えているため、部署内勉強会の実施を推奨している。また、外部機関によるオンラインセミナーや対面型研修についても積極的に活用している。

日時	内容	講師	部署・対象
2023/4/3	図書館ガイダンス	図書館 高橋	図書館
2023/4/14	図書館システム研修	ブレインテック	図書館
2023/4/27	図書館等職員初任者研修	県立図書館	図書館
2023/5/24	TUC キャリアの使い方勉強会①	ディスコ	キャリアサポート室
2023/6/1	教育関係者向けセミナー	NEW EDUCATION EXPO 実行委員会	教育企画 G
2023/7/7	三省合意改定版インターンシップに関する勉強会	マイナビ	キャリアサポート室
2023/7/10	相互貸借担当者研修	県立図書館	図書館
2023/8/22	愛知東邦大学との共同 IR 研修会	IR 推進委員会	IR 推進委員会
2023/8/26	変革する大学! 学修成果の可視化と教学マネジメントの実践	リアセック	教育企画 G
2023/9/11～ (隔週実施)	リフレクション分析研修	敬愛大学	教育企画 G
2023/9/20	TUC キャリアの使い方勉強会②	ディスコ	キャリアサポート室
2023/9/26	低学年キャリア支援セミナー	マイナビ	キャリアサポート室

日 時	内 容	講 師	部署・対象
2023/10/18	マイナビ障がい者就職支援セミナー	マイナビ	キャリアサポート室・教学課
2023/11/7～ 2023/12/8	令和5年度学校法人会計基準研修会	日本公認会計士協会東京会 群馬県会 南雲 拓也 氏	総務 G
2023/12/5	図書館業務への ChatGPT 活用 (初心者向け)	群馬大学研究推進部総合情報メディアセンター課 情報管理係長 亀井 俊弘 氏	図書館
2023/12/13	リアセック VALUE カード研修	教育企画 G	教育企画 G
2023/12/25	キャリア HP の更新方法勉強会	キャリアサポート室 藍	キャリアサポート室
2023/12/26	TUC キャリアの使い方勉強会③	ディスコ	キャリアサポート室
2024/1/22	IR 機能の構築による学修成果の可視化と内部質保証の取り組み	九州産業大学	IR 推進委員会
2024/1/27	非難でもない論破でもない 「批判的思考」って？	昭和女子大学 現代教育研究所	教育企画 G
2024/1/29	第2回私学共済事務担当者研修会	日本私立学校振興・ 共済事業団	総務 G
2024/3/25	人事考課研修	法人本部 森本	全学校の人事考課者(学園主催研修)

2.6.その他

SD 研修の企画・運営以外では、以下の項目について取り組みを実施した。

①学園主催研修

下記の通り学園主催のセミナーが開催され、SD 推進委員会としても参加を推奨した。

今回初めての試みとして大学間包括連携協定を結ぶ高崎健康福祉大学にも本研修を案内したところ、13名の参加があった。

テーマ：	「やらされ感」からの脱却～マインドセットを切り替えるための理論と実践～
実施日：	2024年3月25日(月)10:30～11:30
参加者数：	参加者数 98名 内訳： 高崎商科大学教員…14名、高崎商科大学短期大学部教員…6名 法人職員・高崎商科大学職員…35名、附属高校教員…26名 附属高校職員…4名、高崎健康福祉大学教職員…13名
講師：	株式会社エスノグラファー 代表取締役 神谷俊氏
内容：	認知・行動スタイルの特徴に触れ、自律レベルを高める要因やもたらされる効果について解説された。後半には「ジョブクラフト」や「越境学習」などの具体的なアプローチ方法について紹介があり、質疑応答の時間を設けた。

②書籍要約サービス「flier (フライヤー)」利用

flier (フライヤー) とは、株式会社フライヤーが運営する良書との出会いを促進する時短読書サービスである。今回、試験的ではあるが、自己研鑽の機会提供として、flier の導入を行った。希望する教職員にのみアカウントの配付を行い、自身の興味関心に併せて利用してもらった。法人職員・大学・短大教職員の内 21 名が利用している。

3. 研修会アンケート集計

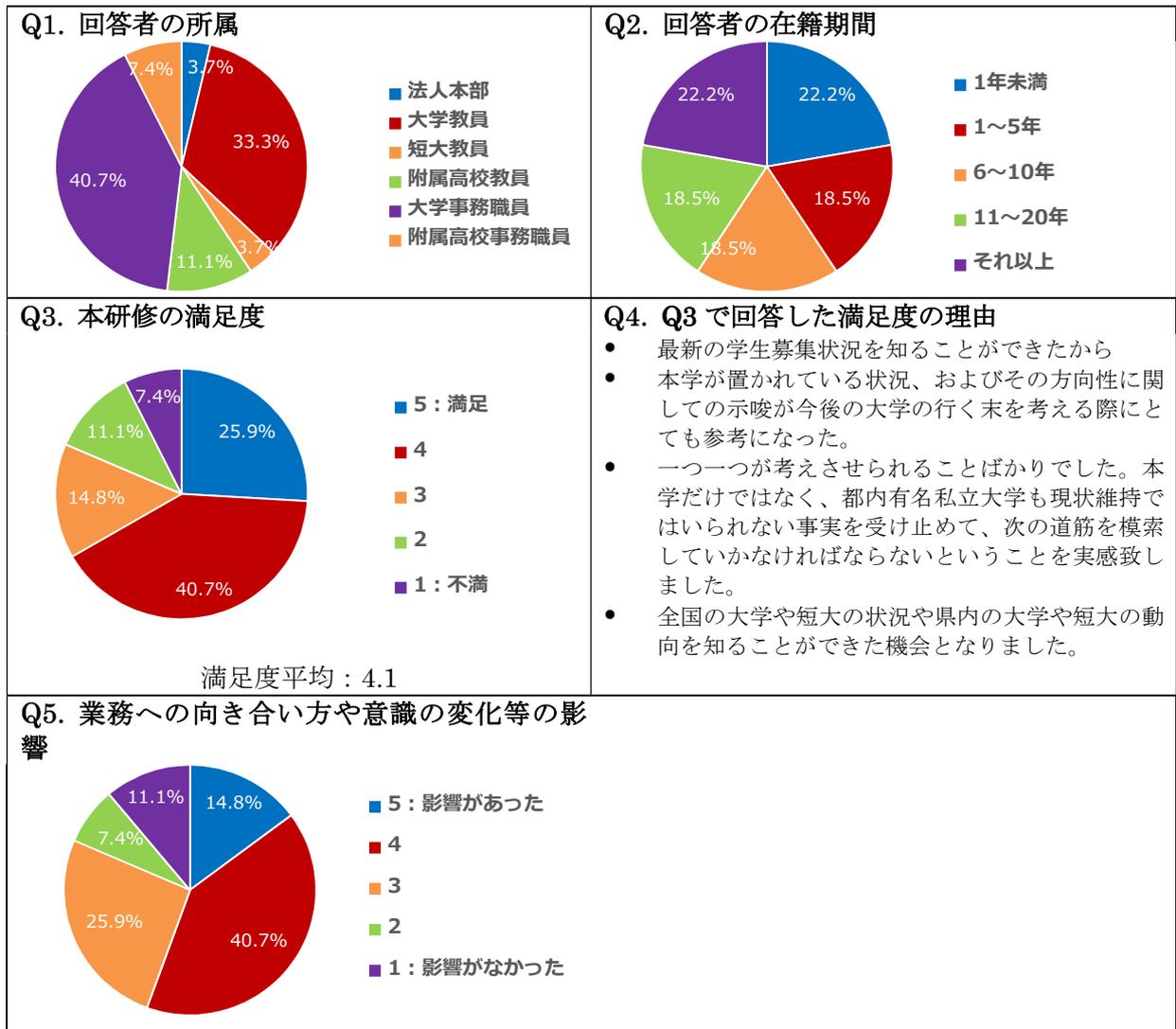
今年度は各研修会開催終了後にアンケートを実施、満足度などを明らかにした。以下にアンケート質問内容と集計結果を報告する。なお、アンケートは全参加者を対象に実施しているため、「2.2023 年度事業報告」で報告した参加人数とは異なる。

本稿では、アンケート項目の内一部を掲載する。特に、自由記入については一部のみを掲載した。

3.1. 集合型研修アンケート報告

① 6月28日実施 最新大学受験事情と、高崎商科大・短大の方向性について

回答対象者数 56名 回答者数 27名 回答率 48.2%



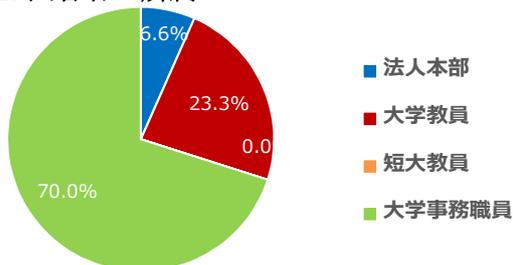
② 10月6日開催 働くうえでの服装・マナーに関する研修

回答対象者数 38名

回答者数 30名

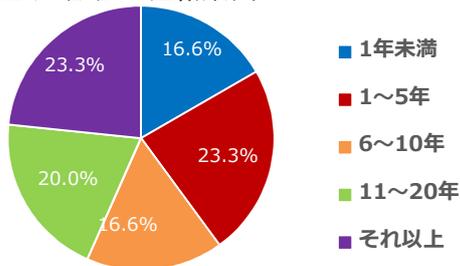
回答率 78.9%

Q1. 回答者の所属

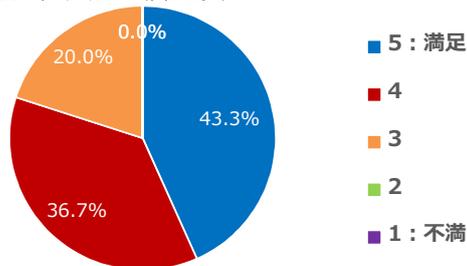


本研修会はもともと大学職員のみを参加必須としている。

Q2. 回答者の在籍期間



Q3. 本研修の満足度

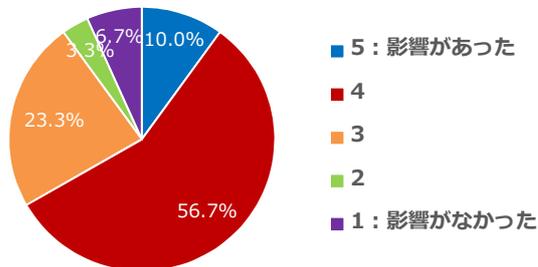


満足度平均：4.2

Q4. Q3で回答した満足度の理由

- 就職活動での服装について、学生への指導を行うにあたり、考えを共有・統一できたことは良かった。
- 対学生の就活における服装マナーについて、座学で学ぶ機会は初めてだったため、もし質問等された場合の回答参考例として勉強になりました。
- 現在のオフィスカジュアルについて基準を学べたから。
- 参考イメージがあると尚良かったです（季節・業種によるTPOの違いなど）

Q5. 業務への向き合い方や意識の変化等の影響

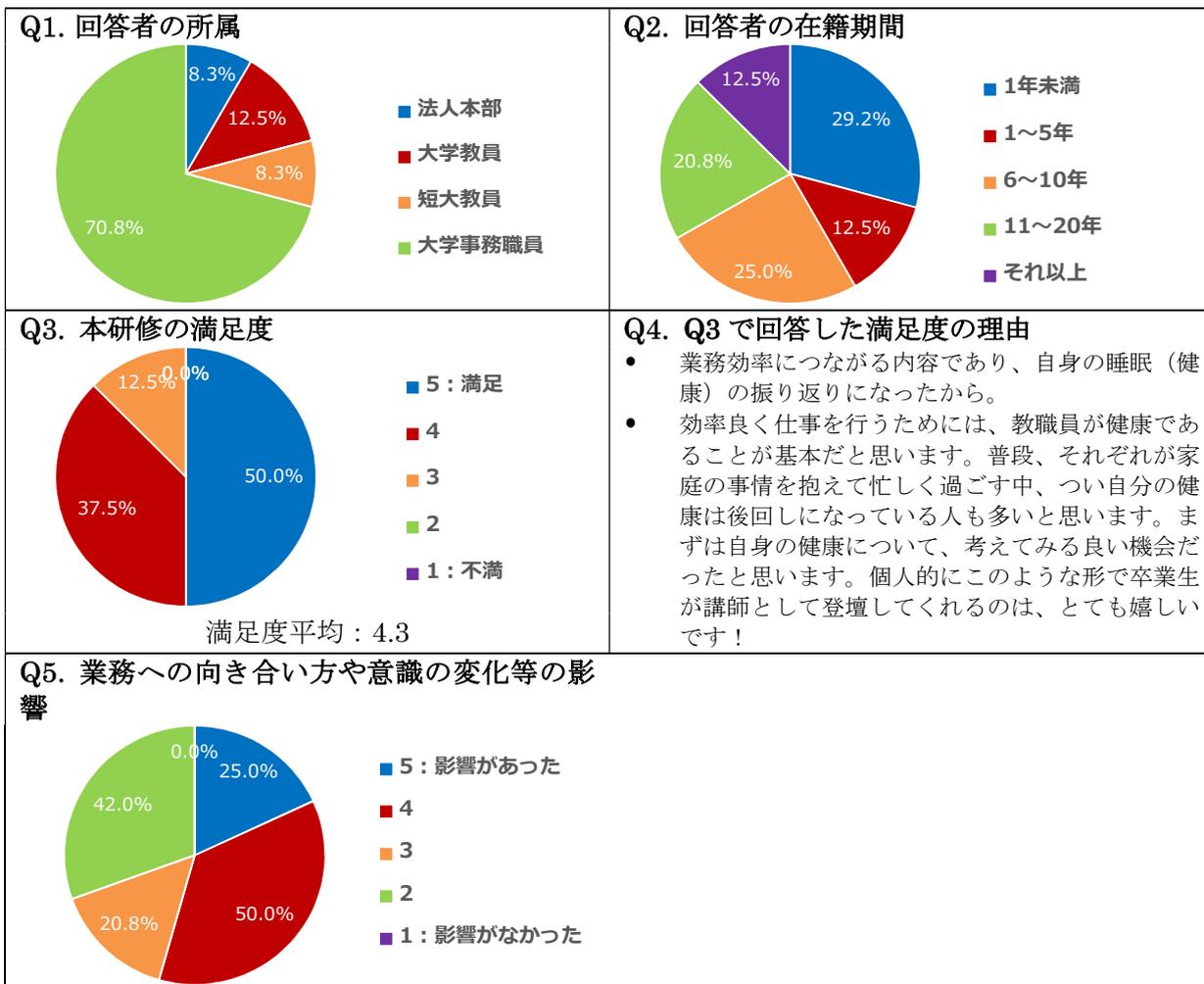


③ 12月26日開催 上質な睡眠で健康な毎日を一効率的で質の良い業務に向けて—

回答対象者数 33名

回答者数 24名

回答率 72.7%

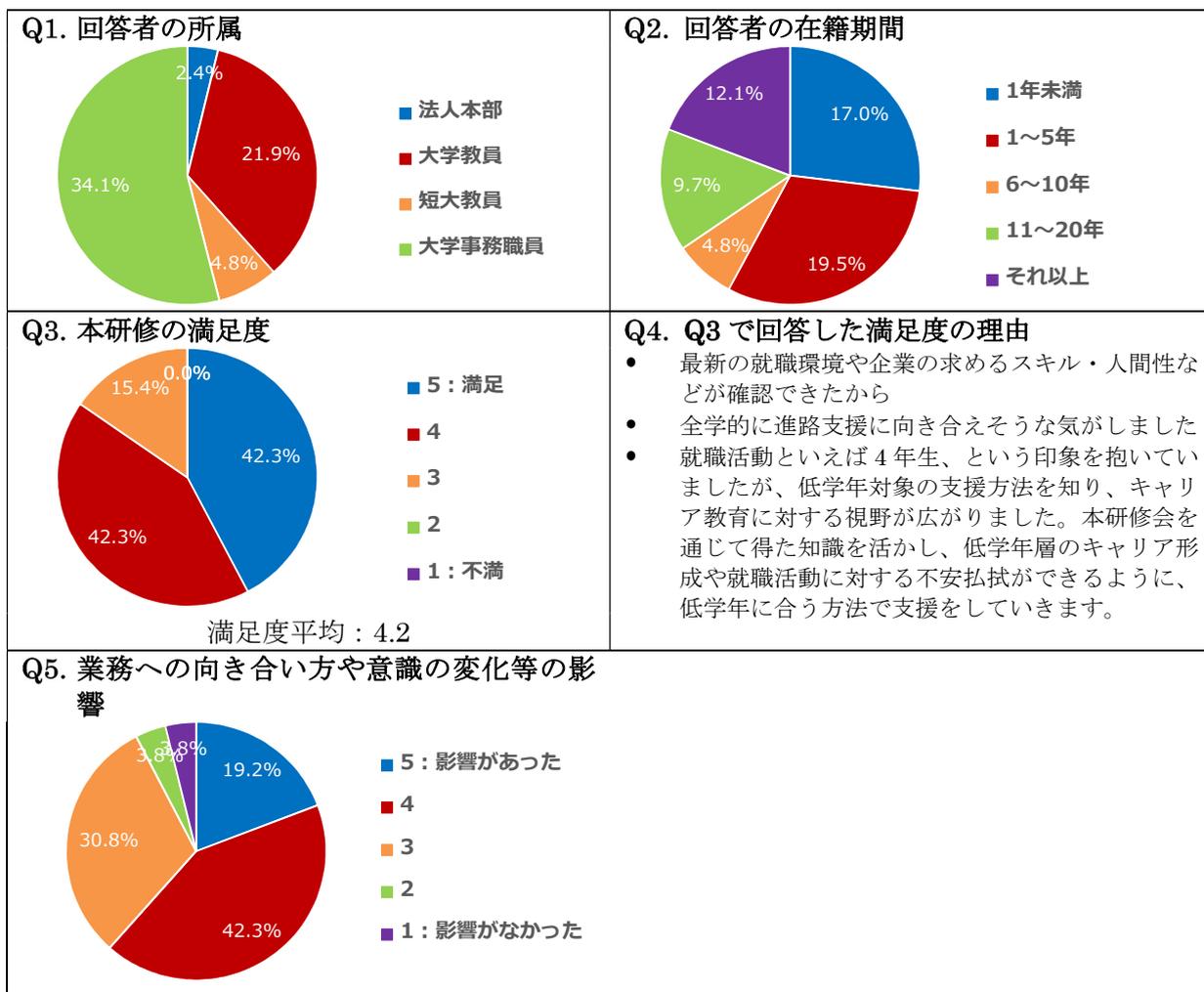


④ 1月26日開催 最新の就職環境とキャリア形成に向けた低学年からの教育について—就職を意識した継続的な学び—

回答対象者数 41名

回答者数 26名

回答率 63.4%



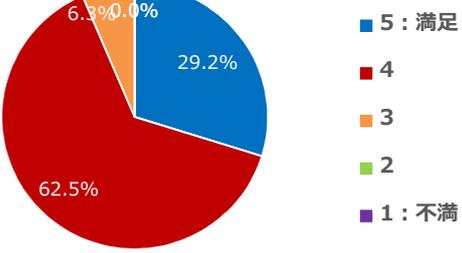
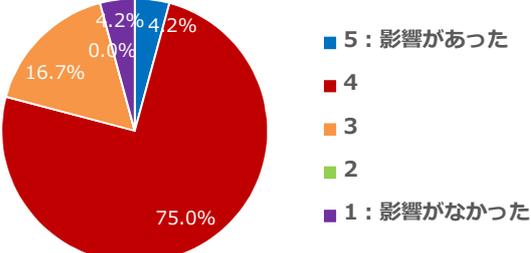
3.2.オンデマンド研修（e-ラーニング）に関するアンケート報告^{xi}

①OAスキル（Word、Excel、PowerPoint、Access）

回答対象者数 41名

回答者数 24名

回答率 58.5%

Q1. 研修会の満足度	Q2. Q1においてそのように回答した理由
 <p>満足度平均：4.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時短につながるエクセルスキルを知ることができたため • 自身で単元を選択できたことで、興味・関心のある分野で絞って受講できた為。 • エクセルの効率的な操作方法を学び、日常業務に生かすことができたため。 • PC スキルは今の時代とても必要なスキルなのでその学習ができた事が非常に有意義でした。
<h4>Q3. 業務への向き合い方や意識の変化等の影響</h4> 	

3.3. 学外合同研修会に関するアンケート報告

① 高崎健康福祉大学・高崎商科大学 合同 SD 研修会 ^{xii}

回答対象者数 21名 回答者数 20名 回答率 95.2%

<p>Q1. 回答者の所属</p> <p>■ 教務 ■ キャリア ■ 地域 ■ 学生 ■ IR ■ 総務 ■ 広報・入試 ■ 国際交流 ■ 図書館</p>	<p>Q2. 本研修会への事前の期待</p> <p>■ とても期待していた ■ 多少期待していた ■ あまり期待していなかった ■ 全く期待していなかった</p>
<p>Q3. テーマ①の満足度</p> <p>■ とてもよかった ■ 良かった ■ やや不満 ■ とても不満</p>	<p>Q4. Q3 で回答した理由や参考になった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務量が多い中、時には学生の重い悩み、態度の悪い学生、響かない学生への支援にこちらのメンタルに影響が出ることもあります。同じ悩みを感じて働く皆さんと想いを共有できる場があるだけでも、救いになると思います。 健康福祉大学さんは教職員間でのコミュニケーションが活発で、その関係性がスムーズな業務に結びついていると感じた。自身でも日頃から教職員間でのコミュニケーションを図りたい。
<p>Q5. テーマ②の満足度</p> <p>■ とてもよかった ■ 良かった ■ やや不満 ■ とても不満</p>	<p>Q6. Q5 で回答した理由や参考になった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 両大学ともに、新入職員の入職後フォロー（研修制度等）が少ないため、「合同研修」のようなかたちで実施することも検討できるのではないかと感じた 両大学（所属グループ）の課題を出し合ったが、両大学の施設設備の違いや学部の特質の違いもあり、【具体的な解決策】は出すことができなかった。ただ、学生対応における同様の悩みを見つけ共感したり、職員が対応していることを先方では教員が対応している等の違いも知り、改めて大学ごとの方針の違いを知ることができ参考になった。
<p>Q7. 研修会全体を通じての満足度</p> <p>■ とてもよかった ■ 良かった ■ やや不満 ■ とても不満</p>	<p>Q8. 今後の業務への活用</p> <p>■ 大いに活かせる ■ 活かせる ■ 活かさない ■ 全く活かさない</p>

3.4. 学内合同研修に関するアンケート報告

① 学内 IR・SD 合同研修会

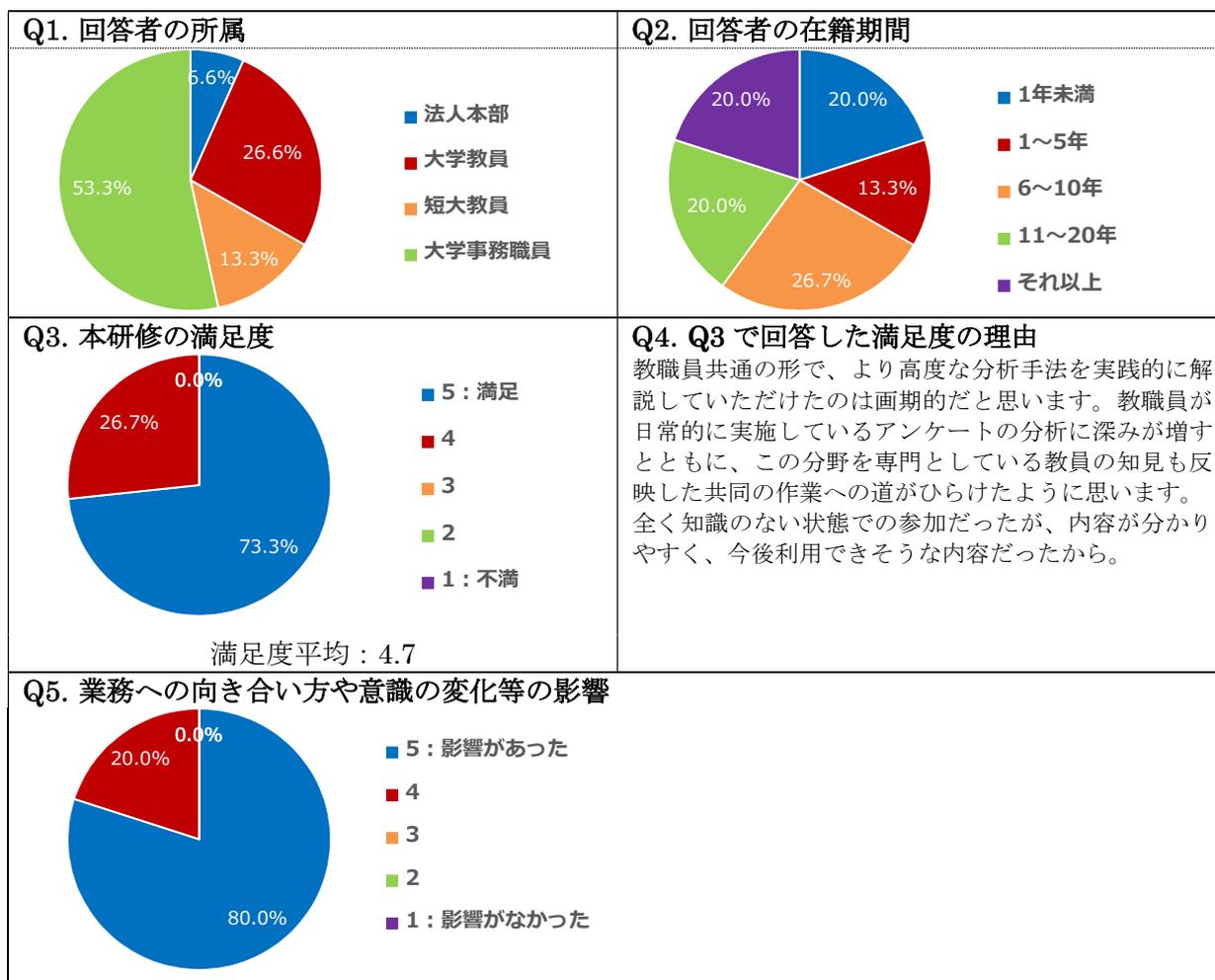
回答対象者数 20 名

回答者数

15 名

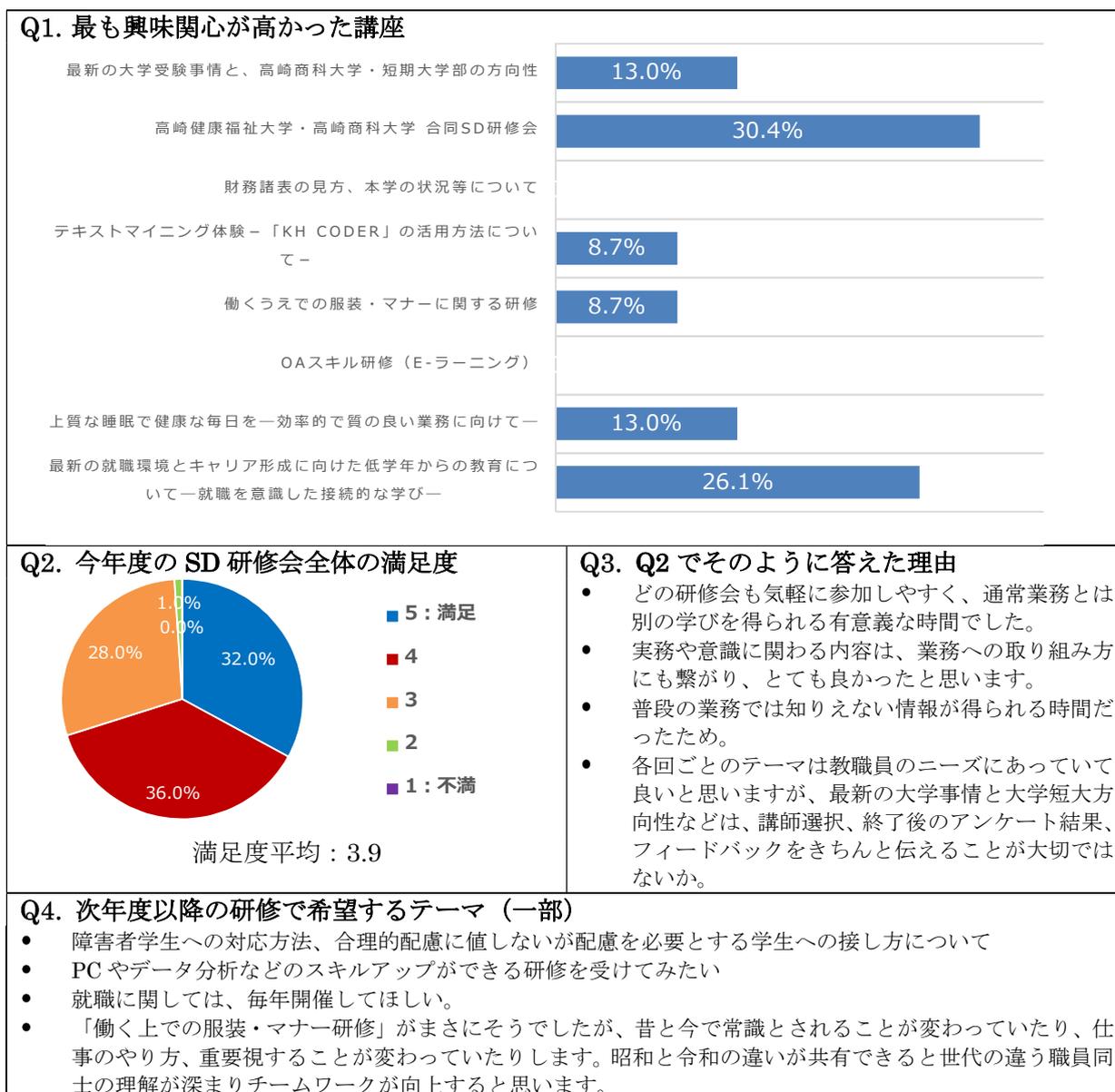
回答率

75.0%



3.5.次年度 SD に向けたアンケート報告

回答対象者数 82 名 回答者数 25 名 回答率 30.4%



3.6.集計結果全体に対するコメント

2023 年度の学内 SD 研修会は例年の集合型研修や e-ラーニングによる研修だけでなく、他大学との職員交流を通じた情報交換会を実施したことで、様々な形態による研修を行うことができた。

集合型研修では、これまでの SD 研修会では扱う機会が少なかったビジネスマナーや健康 (第 2 回「働くうえでの服装・マナーに関する研修」 第 3 回「上質な睡眠で健康な毎日を一効率的で質の良い業務に向けて」) に関する研修を盛り込んだ。これらの講座は今までに実績がないにも関わらず、それぞれの平均満足度は 4 以上 (第 2 回「働くうえでの服装・マナーに関する研修」平均満足度 4.2 第 3 回「上質な睡眠で健康な毎日を一効率的で質の良い業務に向けて」平均満足度 4.3) と一定の満足度を得ることができたと言える。これらの研修は、業務への影響に関する 5 段階評価も、5・4 と回答した割合がそれぞれ 6 割以上と、業務における土壌づくりの機会になったと考えられる (第 2 回「働くうえでの服装・マナー」66.7% 第 3 回「上質な睡眠で健康な毎日を一効率的で質の良い業務に向けて」75%)。

昨年導入した e-ラーニング型研修のうち、必修研修は「OA スキル研修」のみとした。「OA スキル研修」では、受講者自身が受講する単元を定めることで、自身が必要性を感じているスキルを身に付けることができた。このためか、「Access を業務上で初めて利用したため、基礎が学べてよかった。」など自身の業務に紐づけて単元を選んでいる様子が見え、業務への影響についても 79.2% が 5 段階中、5 もしくは 4 を回答しており、日ごろの業務改善につながったと考えられる。

昨年度のアンケートで寄せられた他大学との情報交換については、高崎健康福祉大学と本学の合同

SD を開催することで実現した。アンケート回答者の全員が満足・やや満足と回答し、満足度の高い研修となったと言える。この研修をきっかけに、各部署で連携した取り組み^{xiii}が行われるなど、活動の活性化に寄与することができたと言える。

一方、年度末のSD研修会全体に関するアンケートの平均満足度は3.9と個別の研修に比べるとやや満足度が低いようである。普段の業務では知ることができない知識や最新の事情を知ることができた点において一定の評価を得ることができたが、研修会後のアンケート結果共有やフィードバックなどの必要性について意見が寄せられた。特に全体アンケートに寄せられた内容は次年度以降の引継ぎ事項とし、より教職員が教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための知識及び技能向上につなげたい。

4. まとめと次年度計画

4.1. まとめ

本学SD研修会は「高崎商科大学スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき、以下の3点を踏まえて構成されている。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項

中でも、「(1) 個人の能力向上に資する事項」は主に、e-JINZAIを活用したe-ラーニング研修を通じて実施した。本委員会でも定めたOAスキル研修はWordやPowerPoint、Excelといった日ごろの業務で必須となるスキルの向上の機会となった。さらに、本委員会でも定めた研修以外にも自身の興味関心をもとに研修を受講することで、各自が必要とする能力向上に努めることができたと考える。さらに今年度は、これまでのSD研修会で取り扱うことのなかったマナーや健康に関する研修も行った。これらは大学特有の専門的知識とは異なるが、働くうえで一人一人の地盤固めと言えよう。アンケートからもこれらの研修会の満足度や次年度への期待が高かったため、このような基礎的な研修会に関しても一定の需要があることが明らかとなった。

「(2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項」については、特に高崎健康福祉大学との合同SD研修会において実現することができたと考える。本研修会では他大学の職員と日ごろの業務や仕事のやりがい、悩みを共有することで、自身の業務を振り返る機会となった。特に、合同SD研修会后、高崎健康福祉大学の取り組みを本学でも検討したり、中には合同でイベントを進める等、実際の業務への影響が大きかったと言える。

「(3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項」については、本委員会において教育・職員の双方の意見を取り入れることで、より実りのある研修会の検討に至った。特に、最新の就職活動事情や就職活動を踏まえた低学年からの学びを知ることが、全教職員がそれぞれの立場から大学の出口である学生の卒業後の進路を意識する機会になったと言える。

4.2. 次年度計画

① 本学独自のSD研修会の開催について

研修内容の計画については次年度の業務となるが、今後も継続したい研修テーマは以下の通り。

- ・ 自身のメンタルヘルスケア
- ・ OAスキル
- ・ ビジネスマナー（ビジネスにおける服装を含む）
- ・ 高等教育政策の理解
- ・ アンケート分析能力向上（データの読み方・使い方）
- ・ 学生の合理的配慮について

また、e-ラーニングによる研修については、費用対効果やコンテンツ内容を精査したうえで次年度の導入を検討する。

② 他大学との合同研修会の開催計画について

2023年度は本学と高崎健康福祉大学による初の合同SD研修会を開催し、両大学の参加者から高い満足度を得られたことから、次年度も継続して合同研修会を開催する。アンケート結果からニーズを読み取り、「部署」「入職年数」でグループを分けた形で、対人関係、社会人基礎力、OAスキルなどの向上にもつながる内容を検討している。具体的なテーマや運営方法については次年度の業務となる。

以上

-
- i 2023年10月より専任教員に任用替えとなった。
 - ii 本項の受講者数は専任教員・特任教員・大学短大専任事務職員を対象として標記する。
 - iii このほか、大学特任教員・短大特任教員・理事長・法人職員・附属高校教職員が参加した。
 - iv このほか、理事長、法人職員が参加した。
 - v このほか、理事長、法人職員が参加した。
 - vi このほか、法人職員が参加した。
 - vii e-JINZAI のログイン ID は職員（附属高校職員を含む）と SD 推進委員会所属教員に付与した。参加状況・参加割合は職員の内レポート提出者を対象としている。
 - viii 全学会議終了後に実施。
 - ix このほか、大学特任教員・短大特任教員・理事長・法人職員が参加した。
 - x このほか、法人職員が参加した。
 - xi e-JINZAI のログイン ID は法人職員・大学専任職員・大学パート職員・附属高校事務職員と SD 推進委員会所属教員に付与した。本アンケートは法人職員・大学短大職員・パート職員に実施している。
 - xii 本項目では、本学教職員の回答のみをピックアップする。
 - xiii 例えば図書館では、両大学で連携し、大学生の推し本リーフレットを作成している。